

まちのイメージの認知構造

仁科 信春 (岐阜協立大学経済学部)

キーワード: まちのイメージ, 認知の過程, まち居住の態度, まちづくり

1. はじめに

まちづくりに関わる研究は、多方面で精力的に進められてきている。建築学や都市計画学においては、都市の建築物や空間の評価、およびその使われ方、住みやすさや居住地の満足度、歴史的まち並みの景観、まちづくりと地域活動など、多様な視点から調査研究がなされている。

それらのなかで、まちの景観や空間に関する研究報告として、生活者の地域環境や地域の使い方からまちのまとまりについて考察したもの(小浦ほか, 1998)¹⁾、都市空間の物理的な形態要素と人間活動との相互関係によって成立する空間の相対(相)を体系的に整理したもの(仲間, 1992)²⁾、小中学生の身近な景観に対する感じ方やそれがどのように醸成されていくのかに着目したもの(曲田, 1993)³⁾、伝統的建造物群保存地区を対象とし、歴史的形態や造形的保存および環境保全に寄与する空間領域の設定手法について、景観イメージのあり方を検討したもの(土田ほか, 2016)⁴⁾、などがある。

まちづくり活動や地域活動に関する研究報告には、まちの魅力とまちづくり活動の構成要素からこれらの関連を把握し、まちづくり活動への支援事業のあり方について検討したもの(森田ほか, 2008)⁵⁾、生活満足度や地域への愛着を健康関連要因と捉え、これと子どもの地域活動との関連を調べたもの(樋野ほか, 2012)⁶⁾、居住に関する物理的・心理的変数と居住環境に対する評価の相互関係から、居住満足度の評価構造について検討したもの(石川ほか, 2012)⁷⁾、交通や公園などの都市基盤整備や地域における共同的な活動などから、近隣社会の原単位としての町を捉え、まちづくりの方向性について考察したもの(塚田ほか, 2005)⁸⁾、地域の課題に取り組む地縁型組織と特定の課題に取り組む NPO 等との連携を多次元ネットワークと捉え、まち学習プログラムがこれを促進する可能性に着目し、まちづくり活動を支える中間支援組織の有効性やあり方について検討したもの(三矢ほか, 2014)⁹⁾ などがある。

本稿は、これらの先行研究を踏まえ、高校生のまちに対するイメージの認知の過程と、まちの住みやすさや愛着感といったまちへの思いやまちづくり活動に関する態度との関わりについて考察する。また、まちづくりにおける高校生の地域活動への参加と高等教育機関としての大学の地域との関わりについて言及するものである。

なお、筆者は、高校生を調査対象とし、まちのイメージについて調査対象者の居住地との関連で調べている(仁科ほか, 2019)¹⁰⁾。本稿は、この継続研究として位置づけ、報告するものである。

2. 手続き

岐阜県大垣市内の高校生を調査対象とし、2018年(平成30年)の6月から7月にかけて質問紙調査を行った[※]。質問紙の回収数は880、有効回収数は820である。調査は無記名回答とし、質問紙の配布および回収には、当該高等学校の教職員の方々にご協力をいただいた。調査の概要を表1に示す。

調査の項目は、大垣市のまちのイメージ（まちの全体、自然、にぎわい、住宅地、公共交通、公共施設）、大垣市というまちに対する総合的な満足度、まちの住みやすさ、まちへの愛着感、Uターン志向、まちづくり活動、およびフェイスシート（回答者の性別、学年、居住地）などである。本調査資料は、拙稿¹⁰⁾の分析に用いており、本稿もこれを分析の資料とする。

表 1 調査の概要

調査期間	調査対象	回収数	有効回収数	有効回収率
2018年 6月～7月	大垣市内 高校生	880	820	93.2%

3. まちのイメージの認知とその過程

3.1 まちのイメージとして用いた項目

まちのイメージを構成する項目として、「A：まち全体（16項目）」「B：自然（5項目）」「C：まちのにぎわい（4項目）」「D：住宅地（10項目）」「E：公共交通（5項目）」「F：公共施設（8項目）」の6分野（計48項目）から設定した。これを表2に示す。

「A：まち全体」の項目のうちの5項目（A6, A7, A9, A11, A12）、「C：まちのにぎわい」の4項目（C1～C4）、「D：住宅地」の10項目（D1～D10）、および「E：公共交通」の5項目（E1～E5）まで、あわせて24項目は反転項目である。「B：自然」および「F：公共施設」の項目に反転項目はない。

3.2 まちのイメージの認知過程

表2に示したまちのイメージを構成する項目への回答選択肢を、「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」の4件法とした。この資料をもとに階層クラスター分析を行い、クラスターの形成過程（イメージ項目間の結合過程や項目間の距離など）から、まちのイメージの認知の過程を分析する。出力されたデンドログラムを模式的に示し、それを図1に示す。

3.2.1 クラスターの形成過程（1）－初期段階形成－

イメージの類似性の高い項目のまとまりから、クラスターの初期段階における形成過程は、次の通りである。

- (1)項目 F6（防災・保安施設）と F7（保健・衛生施設）が結合し、これに項目 F8（公共交通施設）が結合する。次に、項目 F2（医療・福祉施設）と F3（教育施設）が結合する。両者が結合し、これに項目 F1（文化施設）が結合することでクラスター①が形成される。これは、都市における公共的施設に関する項目の形成過程を示す。
- (2)項目 F4（娯楽施設）と F5（商業・購買施設）が結合し、クラスター②が形成される。これは、主に民間で所有され、商業活動として利用される娯楽・購買に関する類似性の高い施設として認知されている。
- (3)項目 B3（湧水）と B5（水）が結合する。次に、項目 B2（空気）と B4（緑）が結合し、これに項目 B1（自然）が結合する。両者が結合し、クラスター③が形成される。これは、自然に関する項目の形成過程を示す。

表2 まちのイメージ項目

まち全体	A1	治安がよい
	A2	子どもの遊ぶ場所が十分にある
	A3	街並みが美しい
	A4	公園が多い
	A5	駐車場は十分足りている
	A6	遊歩道が少ない
	A7	建物の老朽化が進んでいる
	A8	景観がよい
	A9	自動車の交通量が多い
	A10	歴史のある建造物が多い
	A11	川遊びのできる小川や水路がない
	A12	電柱や電線の地中化が進んでいない
	A13	歴史がある
	A14	伝統がある
	A15	ストレスが少ない
	A16	付き合いやすい人間関係がある
自然	B1	自然を身近に感じる
	B2	空気がきれい
	B3	湧水が多い
	B4	緑が多い
	B5	水がきれい
にぎわい	C1	商店の空き店舗が多い
	C2	平日の人出が少ない
	C3	観光客が少ない
	C4	商店は夜の早い時間に閉店する
住宅地	D1	空き家が多い
	D2	夜道が暗い
	D3	道幅がせまい
	D4	行き止まりの道が多い
	D5	歩道のない道路が多い
	D6	歩道にガードレールがない
	D7	歩道がせまい
	D8	児童公園が少ない
	D9	ごみ置き場が景観を乱している
	D10	ごみ置き場が通行の妨げになっている
公共交通	E1	バスの本数が少ない
	E2	バス停が少ない
	E3	バス停のスペースがせまい
	E4	タクシーの台数が少ない
	E5	電車の本数が少ない
公共施設	F1	文化施設が整っている
	F2	医療・福祉施設が整っている
	F3	教育施設が整っている
	F4	娯楽施設が整っている
	F5	商業・購買施設が整っている
	F6	防災・保安施設が整っている
	F7	保健・衛生施設が整っている
	F8	公共交通施設が整っている

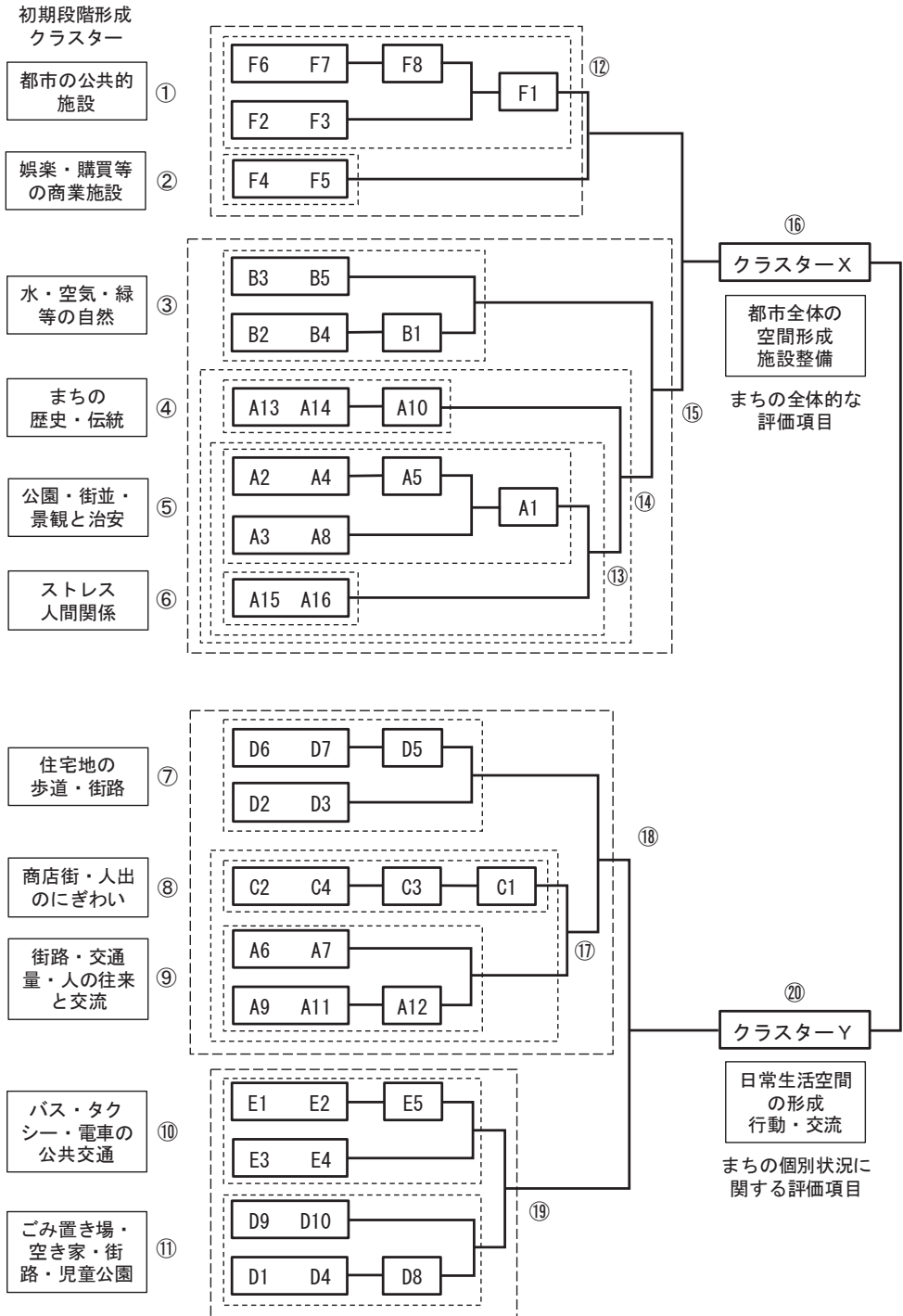


図1 イメージ項目のクラスター形成過程

- (4)項目 A13（歴史）と A14（伝統）が結合し、これに項目 A10（歴史的建造物）が結合し、クラスター④を形成する。まちの歴史や伝統に関する項目の形成過程として捉えることができる。
- (5)項目 A2（子どもの遊び場）と A4（公園）が結合し、これに項目 A5（駐車場）が結合する。次に、項目 A3（街並み）と A8（景観）が結合し、両者が結合する。これと項目 A1（治安）が結合し、クラスター⑤を形成する。これは、オープンスペースの利用や街並みのような景観に関する類似性、およびこれらがまちの安全性（治安）に関わることがイメージとして認知されている。
- (6)項目 A15（ストレス）と A16（人間関係）が結合し、クラスター⑥を形成する。これは、対人的相互作用や心理的ゆとりに関する項目の形成過程を示す。
- (7)項目 D6（歩道のガードレール）と D7（歩道幅）が結合し、これに項目 D5（無歩道）が結合する。次に、項目 D2（夜道）と D3（道幅）が結合する。両者が結合し、クラスター⑦を形成する。これは、住宅地の歩道に関する類似性の高い項目の形成過程を示す。
- (8)項目 C2（平日の人出）と C4（商店）が結合し、これと項目 C3（観光客）が結合する。さらに、これに項目 C1（空き店舗）が結合し、クラスター⑧を形成する。これは、まちのにぎわいに関する項目のイメージの認知過程を示す。
- (9)項目 A6（遊歩道）と A7（建物老朽化）が結合する。次に、項目 A9（自動車交通量）と A11（川遊びのできる小川）が結合し、これに項目 A12（電線地中化）が結合する。これらの項目の結合により、クラスター⑨が形成される。人の往来や人の交流につながる項目としてイメージされている。
- (10)項目 E1（バスの本数）と E2（バス停）が結合し、これに項目 E5（電車の本数）が結合する。次に、項目 E3（バス停スペース）と E4（タクシー台数）が結合する。両者が結合し、クラスター⑩が形成される。これは、日常的に利用される公共交通に関する項目として形成されている。
- (11)項目 D9（ごみ置き場と景観）と D10（ごみ置き場と通行）が結合する。次に、項目 D1（空き家）と D4（行き止まりの道）が結合し、これと項目 D8（児童公園）が結合する。これらの項目が結合し、クラスター⑪が形成される。これは、住宅地における身近な生活空間のあり方に関するものとしてイメージされている。

3.2.2 クラスターの形成過程（2）－後期段階形成－

初期段階以降は、次のような過程で新たなクラスターが形成されていく。

- (1)クラスター①とクラスター②の結合により、クラスター⑫を形成する。これは、公共・商業施設に関する項目の形成過程を示す。
- (2)クラスター⑤とクラスター⑥が結合し、クラスター⑬が形成される。また、クラスター④とクラスター⑬が結合し、クラスター⑭が形成される。これは、まちの空間的な美しさ、まちの雰囲気や快適さ、ゆとりに関するイメージの認知として形成されている。
- (3)クラスター③とクラスター⑭が結合し、クラスター⑮が形成される。これは、自然環境がもたらす精神的潤いを含む地区の保全に関する項目の形成過程である。
- (4)クラスター⑫とクラスター⑮の結合により、クラスター⑯（X）が形成される。これは、都市全体の土地利用や施設整備に関する項目が結合して形成されたイメージとして認知されている。
- (5)クラスター⑧とクラスター⑨が結合し、クラスター⑰が形成される。これは、まちのにぎわいや人の往来に関する項目の形成過程である。
- (6)クラスター⑦とクラスター⑰が結合し、クラスター⑱が形成される。歩行の安全性を含む人の往来と人の交流およびまちのにぎわいに関する項目としてイメージされている。

(7) クラスター⑩とクラスター⑪が結合し、クラスター⑬が形成される。これは、日常的に利用される公共交通と身近な生活空間に関する項目の形成過程として示される。

(8) クラスター⑬とクラスター⑭が結合し、クラスター⑯ (Y) が形成される。これは、日常の生活空間やそこでの人の行動や交流といった、まちの個別の状況に関わる項目が結合されたイメージ認知である。

(9) 最後に、クラスター⑯ (X) とクラスター⑯ (Y) が結合し、全体クラスターが形成される。

3.3 まちのイメージの認知過程

まちのイメージを構成する48項目の結合過程から、イメージの認知過程を2つに大別できる。まちの全体的な評価項目の結合過程(クラスターX:24項目)と、まちの個別の状況に関する評価項目の結合過程(クラスターY(24項目))である。

クラスターXにおける24項目は、「公共施設」「自然」「まちの歴史や伝統」「遊び場・公園・駐車場等の空間」「まち並みや景観」「ストレスや人間関係」といったまちの全体的な評価項目で構成されている。

クラスターYでは、「歩道や道路の状況」「まちのにぎわい」「遊歩道の整備状況や建築物老朽化の状況」「自動車の交通量」「川遊びの場や電柱地中化の状況」「公共交通の運行や整備の状況」「ごみ置き場の状況」「空き家や街路の状況」といったまちの個別の状況に関する評価項目で構成されている。

4. まちへの思いとまちづくり活動に関する項目の関わり

まちへの思いとして、「まちに対する総合的な満足度」「住みやすさに対する意識」「まちへの愛着感」および「Uターン志向」の4項目、まちづくり活動に関する項目として、「まちづくり活動に対する興味」と「まちづくり活動への参加志向」の2項目、あわせて6項目を設定した。いずれも4件法で回答を求めている。総合的な満足度は、「とても満足している」～「まったく満足していない」、住みやすさに対する意識は、「とても住みやすいと思う」～「まったく住みやすいとは思わない」、まちへの愛着感は、「とても愛着を感じる」～「まったく愛着を感じない」、Uターン志向は、「戻りたいと思う」～「戻りたいとは思わない」、まちづくり活動に対する興味は、「興味がある」～「興味はない」、まちづくり活動への参加志向は、「参加したいと思う」～「参加したいとは思わない」である。この資料をもとに、これら6項目における相関関係を表3に示す。

6項目間の相関係数は概ね高く、それぞれの関連は深いものといえる。また、すべての項目間において、0.1%水準で有意差が認められている ($p < .001$)。

とりわけ相関係数の高いものは、「総合的な満足度」と「住みやすさ意識」($r = .751$)、および「まちづくり活動に対する興味」と「まちづくり活動への参加志向」($r = .730$)である。まちに対して、総合的な満足度を有していれば、そのまちに対する住みやすさ意識も醸成されることが考えられる。

また、まちづくり活動に対して一定程度の興味や関心があれば、まちづくり活動への参加につながることを認めることができる。これは意識と行動の一貫性を示すものであり、興味や関心を持つことが、その行動志向性を高めることにつながる。

また、「まちへの愛着感」と「Uターン志向」の関連($r = .590$)、「住みやすさ意識」と「まちへの愛着感」の関連($r = .574$)、「総合的な満足度」と「まちへの愛着感」の関連($r = .552$)も高いことがわかる。まちに対する愛着感の醸成により、まちへの総合的な満足度や住みやすさへの意識が高くなる傾向がある。また、まちを離れて生活することになっても、将来、まちに戻ってくることへの思い(Uターン志向)も生まれることを示唆している。

これら以外においても、「住みやすさ意識」と「Uターン志向」、「総合的な満足度」と「Uターン志向」、「まちへの愛着感」と「まちづくり活動への参加志向」、「まちへの愛着感」と「まちづくり活動に対する興味」、および「Uターン志向」と「まちづくり活動に対する興味」の関連も高いといえる ($r>.4$)。

表3 まちへの思いとまちづくり活動に関する意識の相関関係

		総合的な満足度	住みやすさ意識	まちへの愛着感	Uターン志向	活動への興味	活動への参加志向
総合的な満足度	相関係数	1	.751***	.552***	.433***	.292***	.334***
	N	816	816	816	813	815	816
住みやすさ意識	相関係数		1	.574***	.455***	.323***	.335***
	N		818	818	815	817	818
まちへの愛着感	相関係数			1	.590***	.407***	.415***
	N			818	815	817	818
Uターン志向	相関係数				1	.400***	.395***
	N				815	814	815
活動への興味	相関係数					1	.730***
	N					817	817
活動への参加志向	相関係数						1
	N						818

注) *** 相関係数は 0.1% 水準で有意

5. まちのイメージ項目とまち居住に関する態度との関わり

まちへの思い（総合的な満足度・住みやすさ意識・まちへの愛着感・Uターン志向）とまちづくり活動（活動への興味・活動への参加志向）に関する6項目において、これらをそれぞれ2つの態度に類型し、これを『まち居住に関する態度』と定義する。この態度は、意識や行動が積極的であったり、イメージが高評価である場合を『積極的なまち居住態度』（高群）とし、それらが消極的であったり、低評価である場合を『消極的なまち居住態度』（低群）とする。

ここでは、この態度と、まちのイメージを構成する48項目（表2）の結合過程から形成されたクラスターとの関わりについて考えるものとする。表4-1および表4-2にまちのイメージ項目とまち居住に関する態度との関連を示す。まちのイメージ項目は、初期段階に形成されたクラスターごとに並べ替えている。これは、図1に示したクラスターの形成過程におけるクラスター①からクラスター⑩に対応している。

まちのイメージ項目に対する平均値を比較することで、高群および低群に類型されたまち居住に関する態度の特徴、および態度とイメージ項目やクラスターとの関わりをみるものである。また、2群の平均値の差をt検定によって、有意差を示した。イメージを構成する項目への回答選択肢は、前述したとおり、「1. そう思う」から「4. そう思わない」までの4件法であり、平均値はこの数値をもとに算出した。

項目の平均値は、その数値が低いほど肯定的なイメージとして認知され、数値が高いほど否定的なイメージとして認知されていることを示す。他方、反転項目は、平均値の数値が高いほど肯定的なイメージを、数値の低いほど否定的なイメージであることを示す。

表4-1 まちのイメージ項目とまち居住に関する態度（その1）

ク ラ ス タ ー	総合的な満足度				住みやすさ意識				まちへの愛着感						
	項目	高群		低群		項目	高群		低群		項目	高群		低群	
		度数	平均値	度数	平均値		度数	平均値	度数	平均値		度数	平均値	度数	平均値
①	F6 ***	691	2	121	2.59	F6 ***	712	2	102	2.71	F6 ***	493	1.94	321	2.31
	F7 ***	691	1.96	120	2.5	F7 ***	712	1.95	101	2.63	F7 ***	493	1.9	320	2.25
	F8 ***	691	1.98	121	2.63	F8 ***	712	1.98	102	2.73	F8 ***	493	1.92	321	2.31
	F2 ***	691	1.83	121	2.33	F2 ***	712	1.83	102	2.42	F2 ***	493	1.77	321	2.11
	F3 ***	691	1.85	121	2.45	F3 ***	712	1.85	102	2.54	F3 ***	493	1.77	321	2.19
	F1 ***	690	2.07	121	2.58	F1 ***	711	2.07	102	2.69	F1 ***	493	1.98	320	2.39
②	F4 ***	691	2.24	121	2.89	F4 ***	712	2.27	102	2.85	F4 ***	493	2.17	321	2.61
	F5 ***	690	2.06	121	2.74	F5 ***	711	2.08	102	2.67	F5 ***	492	1.98	321	2.42
③	B3 ***	691	1.8	123	2.23	B3 ***	712	1.79	104	2.4	B3 ***	491	1.67	325	2.16
	B5 ***	691	1.67	124	2.2	B5 ***	712	1.66	105	2.38	B5 ***	492	1.53	325	2.09
	B2 ***	691	2	124	2.62	B2 ***	712	1.99	105	2.81	B2 ***	492	1.86	325	2.46
	B4 ***	691	1.92	124	2.35	B4 ***	712	1.89	105	2.6	B4 ***	492	1.76	325	2.33
	B1 ***	691	2.02	124	2.52	B1 ***	712	1.99	105	2.8	B1 ***	492	1.87	325	2.44
④	A13 ***	692	2.06	124	2.48	A13 ***	713	2.06	105	2.59	A13 ***	493	2	325	2.32
	A14 ***	692	2.04	124	2.53	A14 ***	713	2.04	105	2.62	A14 ***	493	1.99	325	2.3
	A10 ***	688	2.35	124	2.6	A10 ***	710	2.34	104	2.71	A10 ***	491	2.31	323	2.52
⑤	A2 ***	692	2.06	124	2.63	A2 ***	713	2.05	105	2.77	A2 ***	493	1.94	325	2.46
	A4 ***	692	2.08	124	2.65	A4 ***	713	2.07	105	2.8	A4 ***	493	1.98	325	2.45
	A5 ***	690	1.98	124	2.48	A5 ***	712	1.98	104	2.6	A5 ***	493	1.92	323	2.27
	A3 ***	692	2.07	124	2.87	A3 ***	713	2.09	105	2.88	A3 ***	493	1.99	325	2.48
	A8 ***	691	2.25	124	2.89	A8 ***	712	2.26	105	2.89	A8 ***	493	2.18	324	2.6
	A1 ***	692	1.93	124	2.52	A1 ***	713	1.92	105	2.68	A1 ***	493	1.83	325	2.3
⑥	A15 ***	690	2.15	124	2.85	A15 ***	711	2.14	105	3	A15 ***	493	2.05	323	2.56
	A16 ***	691	2.04	124	2.75	A16 ***	712	2.05	105	2.81	A16 ***	493	1.94	324	2.48
⑦	D6 ***	691	2.25	123	1.9	D6 *	712	2.22	104	2.01	D6 -	493	2.22	323	2.16
	D7 ***	691	2.2	122	1.87	D7 ***	712	2.19	103	1.87	D7 -	493	2.17	322	2.12
	D5 ***	691	2.33	122	1.98	D5 **	712	2.31	103	2.05	D5 -	493	2.3	322	2.25
	D2 -	692	1.94	123	1.8	D2 -	713	1.93	104	1.84	D2 -	493	1.91	324	1.93
	D3 ***	691	2.15	123	1.83	D3 **	712	2.14	104	1.87	D3 -	493	2.1	323	2.11
⑧	C2 **	692	2.16	123	1.92	C2 -	713	2.14	104	2.04	C2 -	493	2.1	324	2.17
	C4 **	689	2.08	123	1.87	C4 -	710	2.07	104	1.91	C4 -	491	2.06	323	2.03
	C3 ***	691	1.78	123	1.54	C3 -	712	1.76	104	1.65	C3 -	493	1.75	323	1.73
	C1 -	691	1.92	123	1.85	C1 -	712	1.91	104	1.88	C1 -	493	1.87	323	1.97
⑨	A6 -	689	2.37	122	2.32	A6 -	709	2.36	103	2.37	A6 -	491	2.32	321	2.42
	A7 -	689	2.11	123	2.05	A7 -	711	2.1	103	2.08	A7 -	493	2.09	321	2.12
	A9 ***	689	1.84	124	2.11	A9 -	710	1.86	105	2.03	A9 -	492	1.86	323	1.9
	A11 -	691	2.12	123	2.11	A11 -	712	2.13	104	2.05	A11 -	493	2.09	323	2.16
	A12 -	690	2.15	122	2.16	A12 -	710	2.15	104	2.19	A12 **	492	2.09	322	2.24
⑩	E1 ***	690	2.15	124	1.58	E1 **	711	2.1	105	1.79	E1 -	492	2.09	324	2.03
	E2 ***	691	2.4	124	1.79	E2 ***	712	2.36	105	1.96	E2 **	493	2.38	324	2.2
	E5 ***	691	2.16	123	1.63	E5 ***	712	2.13	104	1.76	E5 **	493	2.17	323	1.95
	E3 ***	691	2.45	124	1.97	E3 ***	712	2.42	105	2.11	E3 -	493	2.42	324	2.32
	E4 ***	689	2.65	124	2.15	E4 ***	710	2.63	105	2.19	E4 **	492	2.65	323	2.46
⑪	D9 ***	691	2.84	122	2.39	D9 ***	712	2.81	103	2.49	D9 **	493	2.84	322	2.67
	D10 ***	691	3.03	122	2.58	D10 ***	712	3	103	2.67	D10 **	493	3.03	322	2.86
	D1 ***	691	2.5	123	2.23	D1 -	712	2.48	104	2.32	D1 -	493	2.48	323	2.42
	D4 ***	691	2.67	122	2.21	D4 ***	712	2.65	103	2.28	D4 **	493	2.66	322	2.51
	D8 ***	691	2.48	122	2.02	D8 ***	712	2.46	103	2.06	D8 ***	493	2.49	322	2.29

注) t-test 「0.1%水準有意:***」 「1%水準有意:**」 「5%水準有意:*」 「有意差なし:-」

表4-2 まちのイメージ項目とまち居住に関する態度 (その2)

クラスター	Uターン志向				活動への興味				活動への参加志向						
	項目	高群		低群		項目	高群		低群		項目	高群		低群	
		度数	平均値	度数	平均値		度数	平均値	度数	平均値		度数	平均値	度数	平均値
①	F6 ***	404	1.94	408	2.23	F6 ***	336	1.94	477	2.19	F6 ***	343	1.93	471	2.21
	F7 ***	404	1.88	407	2.18	F7 ***	336	1.9	476	2.13	F7 ***	343	1.9	470	2.13
	F8 ***	404	1.9	408	2.25	F8 ***	336	1.91	477	2.19	F8 ***	343	1.91	471	2.19
	F2 ***	404	1.75	408	2.05	F2 ***	336	1.76	477	2.01	F2 ***	343	1.75	471	2.01
	F3 ***	404	1.79	408	2.08	F3 ***	336	1.8	477	2.03	F3 ***	343	1.78	471	2.05
	F1 ***	404	1.98	407	2.31	F1 ***	336	1.96	476	2.27	F1 ***	343	1.97	470	2.27
②	F4 ***	404	2.14	408	2.53	F4 ***	336	2.14	477	2.48	F4 ***	343	2.16	471	2.47
	F5 ***	403	1.98	408	2.33	F5 ***	336	2	476	2.26	F5 ***	343	1.99	470	2.27
③	B3 ***	404	1.67	409	2.05	B3 ***	336	1.71	479	1.98	B3 ***	343	1.72	473	1.97
	B5 ***	404	1.54	410	1.96	B5 ***	336	1.61	480	1.86	B5 ***	343	1.63	474	1.84
	B2 ***	404	1.86	410	2.32	B2 ***	336	1.9	480	2.23	B2 ***	343	1.91	474	2.23
	B4 ***	404	1.74	410	2.22	B4 ***	336	1.79	480	2.13	B4 ***	343	1.76	474	2.15
	B1 ***	404	1.86	410	2.34	B1 ***	336	1.9	480	2.24	B1 ***	343	1.89	474	2.25
④	A13 ***	404	1.98	411	2.27	A13 ***	337	1.92	480	2.27	A13 ***	344	1.96	474	2.25
	A14 ***	404	1.97	411	2.26	A14 ***	337	1.93	480	2.24	A14 ***	344	1.95	474	2.23
	A10 ***	402	2.3	409	2.48	A10 ***	337	2.22	476	2.51	A10 ***	344	2.24	470	2.5
⑤	A2 ***	404	1.94	411	2.35	A2 ***	337	1.99	480	2.26	A2 ***	344	1.97	474	2.27
	A4 ***	404	1.99	411	2.34	A4 ***	337	2.01	480	2.28	A4 ***	344	1.99	474	2.3
	A5 ***	404	1.91	409	2.2	A5 ***	336	1.93	479	2.15	A5 ***	342	1.92	474	2.16
	A3 ***	404	1.99	411	2.39	A3 ***	337	1.99	480	2.33	A3 ***	344	1.99	474	2.33
	A8 ***	404	2.16	410	2.52	A8 ***	337	2.16	479	2.47	A8 ***	344	2.14	473	2.49
	A1 ***	404	1.89	411	2.14	A1 ***	337	1.9	480	2.1	A1 ***	344	1.9	474	2.1
⑥	A15 ***	404	2.03	409	2.47	A15 ***	337	2.08	478	2.37	A15 ***	343	2.11	473	2.35
	A16 ***	404	1.91	411	2.38	A16 ***	336	1.96	480	2.29	A16 ***	343	1.96	474	2.29
⑦	D6 -	404	2.22	410	2.18	D6 -	336	2.23	479	2.18	D6 -	343	2.26	473	2.15
	D7 *	404	2.21	409	2.09	D7 -	336	2.19	478	2.12	D7 -	343	2.2	472	2.12
	D5 -	404	2.29	409	2.27	D5 -	336	2.32	478	2.25	D5 *	343	2.35	472	2.23
	D2 -	404	1.94	410	1.9	D2 -	337	1.95	479	1.9	D2 -	344	1.91	473	1.92
	D3 -	404	2.14	410	2.07	D3 -	336	2.15	479	2.07	D3 -	343	2.13	473	2.08
⑧	C2 -	404	2.12	410	2.13	C2 -	337	2.13	479	2.13	C2 -	344	2.14	473	2.12
	C4 -	403	2.05	409	2.04	C4 -	335	2.03	478	2.06	C4 -	342	2.05	472	2.04
	C3 -	404	1.76	410	1.73	C3 -	336	1.76	479	1.73	C3 -	343	1.75	473	1.74
	C1 -	404	1.87	410	1.95	C1 -	336	1.86	479	1.94	C1 -	343	1.86	473	1.94
⑨	A6 -	402	2.32	407	2.4	A6 -	334	2.39	477	2.34	A6 -	341	2.36	471	2.35
	A7 -	404	2.12	407	2.07	A7 -	336	2.12	477	2.09	A7 -	343	2.11	471	2.09
	A9 -	404	1.84	408	1.92	A9 -	337	1.84	477	1.91	A9 **	343	1.8	472	1.94
	A11 -	403	2.09	410	2.15	A11 -	337	2.12	478	2.12	A11 -	344	2.09	472	2.14
	A12 -	401	2.13	410	2.17	A12 -	335	2.15	478	2.15	A12 -	343	2.13	471	2.17
⑩	E1 -	403	2.12	411	2	E1 *	336	2.15	479	2	E1 -	343	2.14	473	2.01
	E2 ***	404	2.43	411	2.19	E2 ***	336	2.44	480	2.22	E2 **	343	2.42	474	2.23
	E5 ***	404	2.2	410	1.97	E5 **	336	2.17	479	2.02	E5 **	343	2.2	473	2
	E3 -	404	2.44	411	2.32	E3 **	336	2.48	480	2.31	E3 **	343	2.49	474	2.3
	E4 **	402	2.66	411	2.49	E4 -	335	2.64	479	2.53	E4 *	342	2.66	473	2.51
⑪	D9 -	404	2.82	409	2.73	D9 **	336	2.87	478	2.7	D9 **	343	2.87	472	2.7
	D10 **	404	3.04	409	2.89	D10 **	336	3.04	478	2.9	D10 *	343	3.04	472	2.9
	D1 -	404	2.5	410	2.42	D1 -	336	2.46	479	2.47	D1 -	343	2.47	473	2.46
	D4 **	404	2.68	409	2.53	D4 *	336	2.67	478	2.55	D4 **	343	2.7	472	2.53
	D8 **	404	2.49	409	2.33	D8 *	336	2.49	478	2.36	D8 **	343	2.5	472	2.35

注) t-test 「0.1%水準有意:***」 「1%水準有意:**」 「5%水準有意:*」 「有意差なし:-」

5.1 総合的な満足度の態度

総合的な満足度の評価の高い態度をもつ被験者（高群）は、評価の低い態度をもつ被験者（低群）よりも、ほとんどのイメージ項目に対して肯定的な認知をしている。また、これらの多くの項目において、平均値の差が有意水準0.1%となっている。クラスター⑨におけるイメージ項目A9およびA12の2つは、低群のほうが肯定的なイメージをもっている。しかしながら、項目A9の有意差は0.1%水準であるが、項目A12においては、平均値の差に有意差は認められない。

5.2 住みやすさ意識の態度

住みやすいとする態度をもつ被験者（高群）は、住みやすいとは思わないとする態度をもつ被験者（低群）よりも、イメージ項目のほとんどが肯定的な認知となっている。クラスター⑨の項目A6, A9, A12の3項目は、低群の態度のほうが、肯定的なイメージをもっている。クラスター⑧およびクラスター⑨に属するイメージ項目では、平均値の差に有意差は認められないが、これら以外の多くのイメージ項目において、0.1%水準の有意差となっている。

5.3 まちへの愛着感の態度

まちへの愛着感については、愛着を感じるという態度をもつ被験者（高群）は、愛着を感じないという態度をもつ被験者（低群）よりも、肯定的な認知をもつイメージ項目が多い。クラスター①からクラスター⑥までに属するイメージ項目の平均値の差は、0.1%水準で有意差が認められている。クラスター⑩および⑪の項目においては、有意差1%水準の項目が多い。クラスター⑦から⑨では、ほとんどのイメージ項目において平均値の差に有意差は認められない。クラスター⑦の項目D2, D3, クラスター⑧の項目C2, C1, およびクラスター⑨に属する項目のすべて（A6, A7, A9, A11, A12）は、低群のほうがイメージが肯定的に認知されている。

5.4 Uターン志向の態度

地域へのUターン志向性の高い態度をもつ被験者（高群）は、志向性の低い態度をもつ被験者（低群）よりも、肯定的な認知をもつイメージ項目が多い。クラスター①から⑥までに属するすべての項目と、クラスター⑩に属する項目の一部において、0.1%水準の有意差が認められた。また、クラスター⑪では、3項目に1%水準の有意差が認められたが、クラスター⑦から⑨においてはほとんどの項目に有意差は認められない。クラスター⑧のC2, C1, クラスター⑨のA6, A9, A11, クラスター⑩のE1の各項目において、低群のほうが肯定的なイメージとして認知されている。

5.5 まちづくり活動への興味の態度

まちづくり活動に興味があるとする態度をもつ被験者（高群）は、興味がないとする態度（低群）よりも、肯定的なイメージをもつ項目が多い。クラスター①から⑥までに属するすべての項目と、クラスター⑩に属する1項目（E2）において、0.1%水準の有意差が認められた。また、クラスター⑩の残りの項目とクラスター⑪では、ほとんどの項目が有意水準1%水準または5%水準である。また、クラスター⑦から⑨に属するすべての項目においては、有意差は認められない。態度の高群（活動に興味あり）よりも態度の低群（活動に興味なし）のほうが、肯定的なイメージをもつ項目は、クラスター⑧のC3とクラスター⑨のA9の2項目である。

5.6 まちづくり活動への参加の態度

活動への参加志向の高い態度をもつ被験者（高群）は、参加志向の低い態度をもつ被験者（低群）よりも、多くの項目において、肯定的なイメージをもっている。平均値の差において、0.1%水準の有意差が認められたものは、クラスター①から⑥までに属するすべての項目である。クラスター⑩およびクラスター⑪では、有意差1%水準の項目が多いが、5%水準または有意差なしの項目も認められる。クラスター⑦から⑨では、ほとんどの項目において有意差は認められない。高群より低群のほうが肯定的なイメージをもつ項目は、クラスター⑦のD2、クラスター⑧のC1、クラスター⑨のA9、A11、A12である。

6. まちのイメージの認知構造

まちのイメージの認知の過程は、まちの全体的なイメージを構成する項目によるクラスター形成と、まちの個別の状況に対するイメージ項目によるクラスター形成に大別された。

まちの全体的なイメージの認知過程として、「防災・保険・公共交通」「医療・教育」「文化」および「娯楽・商業」に関わる公共施設関連項目からなるクラスター形成、「水」「空気・緑・自然への感覚」といった自然関連項目からなるクラスター形成、および「歴史・伝統」「公園・駐車スペース」「まち並み・景観」「治安」「ストレス・人間関係」といったまちの形成性や空間特性、対人関係からなるクラスター形成が認められた。

まちの個別状況によるイメージの認知過程として、「ガードレール・歩道の幅員」「夜間の道路・道路幅員」といった歩道や道路の安全性や整備状況の項目からなるクラスター形成、「人出・商店街・観光客」といったまちのにぎわいに関する項目からなるクラスター形成、「遊歩道・建築物老朽化」「交通量・遊び場としての小川や水路・電柱地中化」といった歩道、道路、建築物、および河川の整備状況に関する項目からなるクラスター形成、「バスや電車の本数」「バス停」「タクシー台数」といった公共交通機関の整備運行項目からなるクラスター形成、「ごみ置き場」「空き家・行き止まりの道・児童公園」といった住宅地の環境に関する項目からなるクラスター形成が認められた。

また、まちへの思い（総合的な満足度・住みやすさ意識・まちへの愛着感・Uターン志向）とまちづくり活動（活動への興味・活動への参加志向）に関する項目は、相関関係の高いことが認められた。これらを、積極的なまち居住態度（積極的あるいは高評価のグループ（高群））と、消極的なまち居住態度（消極的あるいは低評価のグループ（低群））に分け、まちのイメージを構成する項目への評価（肯定的または否定的）から、まち居住の態度の特性を提示することができた。

これらのことから、まちのイメージの認知構造を次のように考えることができる。

- (1) 認知の過程は、イメージを構成する項目の類似性から段階的なクラスターを形成していく。
- (2) イメージの認知は、都市全体に関わる評価項目とまちの個別の状況に関わる評価項目が、それぞれ独立にクラスターを形成し、最終的にこの両者の結合につながる。
- (3) まちのイメージは、積極的なまち居住態度と消極的なまち居住態度の特性と関連する。積極的なまち居住態度の形成は、まちのイメージ認知の高評価を規定する。

7. 高校生の地域社会への関わりと大学の地域貢献のあり方

まちづくり活動は、その種類、運営方法、組織構成など多種多様であり、各所で盛んに行われている。そのなかで、とりわけ任意団体の活動における参加者は、地域の高齢者が多いとされる。これまでの筆者の

研究¹¹⁾ 12) 13) においても、そのことが認められている。少子高齢・人口減少社会が進行することで、活動への参加者の減少や後継者不足の問題は、まちづくり活動の維持を難しくしている。

持続的なまちづくりを実践していくためには、そこに関わる住民が多様であることが必要である。そのことで、多様な人たちの思いがまちづくりに反映される。児童や生徒も立派な市民であり、また、何らかの支援が必要とされる人たちもそうである。

とりわけ、高校生はごく近い将来の地域における中心的な役割を担うことが期待される。18歳からの選挙権が与えられているだけでなく、2022年に成人年齢が18歳に引き下げられることも決定している。こうしたことから、高校生は地域社会の一成員として、コミュニティへの主体的参加が期待される面も大きいといえる。少子高齢・人口減少社会という趨勢においては、高校生の地域社会における成員としての位置づけにモラトリアムはないともいえそうである。

高校生の自身の住むまちに対する認知が不足していたり、関心が低ければ、まちづくりに関わるという社会参画行動には至らない。自身の住むまちを客観的にみて、適切な状況判断のできることが望まれる。それがまちづくりへのはじめの一歩である。そこから、まちに対する思いが深くなっていく。

将来の成人と位置づけられる高校生が、どのようにすれば地域に関心を持ち、地域活動への主体的参画につながるのかを明らかにすることは、少子高齢・人口減少社会における持続可能なコミュニティ形成にとって重要な視点である。

高等教育機関としての大学は、蓄積された知見をもとに地域貢献が求められている。大学は、それを小・中・高等学校に対して、また、地域住民、団体、事業者、行政に対して、どのように具現化することができるのかを考えなければならない。さらに、大学、地域（市民・団体）、初等中等教育機関、事業者および行政等による協働の取り組みが必要であるだけでなく、大学は、これらのコーディネーターや問題・課題の提示、および組織運営マネジメント等に対し、中心的な役割を果たすことの義務があると考えられる。

注)

本調査は、2018年度岐阜経済大学（現岐阜協立大学）共同研究の助成を受け（代表：筆者）、『青年期前期における地域社会に関する意識と地域活動への主体的参加に関する考察』におけるデータ収集として実施された。

質問紙にご回答をいただいた高等学校の生徒のみならず、および質問紙調査にご協力をいただいた教職員のみならずには、大変お世話になりました。心より感謝の意を表します。

参考文献・引用文献

- 1) 小浦久子・生島一明、地域の使い方と地域認識にもとづく「まち」のまとまりに関する研究、第33回日本都市計画学会学術研究論文集、pp. 373-378、1998
- 2) 仲間浩一、まちのイメージを形成する空間単位の相とそのデザイン手法に関する研究—国会資料の分析を通じて—、第27回日本都市計画学会学術研究論文集、pp. 709-714、1992
- 3) 曲田清維、子どもの景観認識に関する研究—町並みにおける小景観の評価—、第28回日本都市計画学会学術研究論文集、pp. 37-42、1993
- 4) 土田 寛・武藤 舞、歴史的環境の保全に向けた景観イメージ形成手法に関する基礎的研究—歴史的環境を日

- 常的な景として捉えるための地区境界部のイメージ分析, 日本建築学会計画系論文集, 第81巻第721号, pp. 695-703, 2016
- 5) 森田哲男・塚田伸也, まちの魅力とまちづくり活動への熱意との関連についての分析—群馬県のまちうち再生総合支援事業を事例として—, 第43回日本都市計画学会都市計画論文集, pp. 277-282, 2008
 - 6) 樋野公宏・白石靖幸・星 且二・伊香賀俊治, 子どもの地域活動の参加要因と健康関連要因の構造分析—保護者の意識・行動および地域の安全環境に着目して—, 日本建築学会計画系論文集, 第77巻第679号, pp. 2119-2125, 2012
 - 7) 石川 徹・浅見泰司, 都市における居住満足度の評価構造に関する研究—居住属性, 価値観, 物的環境との関係から—, 日本都市計画学会都市計画論文集, Vol. 47 No. 3, pp. 811-816, 2012
 - 8) 塚田伸也・湯沢 昭, 市街地の成立要件から捉えたまちづくりの住民満足度と課題について, 日本都市計画学会都市計画論文集, Vol. 40 No. 3, pp. 763-768, 2005
 - 9) 三矢勝司・吉村輝彦・秀島栄三, まち学習プログラムによる多次元ネットワーク形成における中間支援組織の役割, 日本建築学会計画系論文集, 第79巻第699号, pp. 1155-1162, 2014
 - 10) 仁科信春・後藤康文・高橋利行, 大垣市のイメージと地域活動への参加に関する考察—大垣市の高校生を調査対象として—, 岐阜協立大学論集, 第53巻第1号, pp. 155-172, 2019
 - 11) 仁科信春, 市民・事業者の地域活動に関する意識と行動, 福岡工業大学環境科学研究所環境研究発表 2015, pp. 41-45, 2015
 - 12) 仁科信春, 地域活動に関する行動実態からみた協働支援の方向性, 福岡工業大学環境科学研究所所報 Vol. 9, pp. 59-65, 2015
 - 13) 仁科信春, 市民の主体的参加による協働まちづくり推進序説, 福岡工業大学環境科学研究所所報 Vol. 11, pp. 15-23, 2017
 - 14) 仁科信春, 居住環境と管理意識, 『参加社会の心理学』, 川島書店, pp. 70-79, 2000
 - 15) 井上佳朗・仁科信春, ライフステージからみた若者の居住地選択—鹿児島と東京の大学生の場合—, 鹿児島大学文学部紀要「人文学科論集」第49号, pp. 13-43, 1999
 - 16) ケヴィン・リンチ, 『都市のイメージ』, 岩波書店, 1968
 - 17) アルリック・ナイサー, 『認知の構図』, サイエンス社, 1978
 - 18) 日笠 端, 『都市計画』, 共立出版, 1977
 - 19) 加藤 晃・竹内伝史, 『新・都市計画概論』, 共立出版, 2004
 - 20) 小浦久子, 『まとまりの景観デザイン』, 学芸出版社, 2008